

岡崎いきいき新聞



2021
7月号

おかざき
いきいき

京都市岡崎いきいき市民活動センター

二胡とギターが生み出す唯一無二の音色



「活動時間は主にどんなことをしていますか？（活動内容など）」

「二胡の魅力を教えて下さい。」

岡崎いきいきセンターでは、主にがんこ寿司高瀬川二条苑で行う公演のりハルを行っていません。岡崎いきいきセンターで練習を行っています。その後がんこ寿司の演奏会は口ビーで行っています。12時と13時の40分二回公演で、無料ライブなのでなたでもご覧になれます。がんこ寿司での演奏の他にも伏見の介護施設に訪問演奏も行っています。

一番は音色です。二胡の音色は、人間の声に近いと言われています。遠くで聴いたらコーラスかと思ったりもありました(笑)(ギター・園口さん)

「二胡の特徴を教えてください。」

「吐魯番的葡萄熟了・トルファンの葡萄が熟した」という曲です。この曲は、ウイグル族の音楽が題材となっています。

日曜日の午前中、第一会議室から二胡独特の表情豊かな音色が流れてきました。この音色を奏でていたのは「二胡アンサンブル楽楽(らら)」さんの演奏です。

楽楽さんは、当センターを利用して頂いている音楽グループの中で唯一の二胡の演奏を主としたグループです。最近では二胡2人、ギター1人の計3人で活動されています。楽楽さんは、がんこ寿司 高瀬川二条苑で演奏するために結成されたそうなのですが、当初は、二胡が2人といった編成で、その後、ギターの園口さんが加入することによって現在の3人編成になったそうです。そんな二胡アンサンブル楽楽さんに今回お話を聞きました。

月一回の心地いい至福の時間

「初心者でも上手くなりますか？」

二胡は初心者でもやりやすいですし、弾いてて疲れにくいんです。最初はきれいな音が出ないかもしれませんが、練習すればきれいな音が出るようになります。二胡は歳を重ねてから始める人も多いです。



楽楽のみなさん

レコードを聴く会



6/26「SP・LP盤で聴く懐かしいカントリー&ウエスタン」

緊急事態宣言期間が明けのレコードを聴く会の開催だったというところもあり、参加者さんからレコードを聴く会が再開されて良かったとの声をいただきました。さて、今回のレコードを聴く会の内容は、「50.50 盤で聴く懐かしいカントリー&ウエスタン」です。古いレコードから出たノイズもとても心地よくさせてくれるカントリー&ウエスタンの楽曲は、とても和やかなレコード時間を与えてくれたように思います。参加者の皆さまからは「懐かしいあの頃の記憶が蘇った」などの感想をいただくことができました。

次回のレコードを聴く会は7月24日に開催します。内容は「阿久悠の紅白歌合戦」で企画者はジョニーアップルシードさんです。申込受付中となっています。是非ご予約下さい！

My Favorite Records ~ 私の好きなレコード ~

今回紹介してくれたのはこの方！



音楽を聴くきっかけになった思い出やエピソードは何ですか？

ドラマやアニメの主題歌が印象的でそこから入りました。

学生の頃好きだった曲やアーティストの思い出を添えて教えてください。

10代の後半の頃、中森明菜の「BILITIS」工藤静香の「黄砂に吹かれて」が失恋ソングでした。

ジョニーアップルシードさん 1番初めに買ったレコードを教えてください

少年隊・CHA-CHAです。

PICK UP

7月のイベント情報

《レコードを聴く会》

先着15名(予定)の申込制。和室で行います。申し込みはイベントの1ヶ月前から受け付けます。ご参加お待ちしております！
7/24 (土) 14:00~15:30 (開場13:30)
内容：阿久悠の紅白歌合戦
※コロナウイルス感染拡大状況によってはやむを得ず中止、延期をする場合がございます。

みなさま、7月となり気温が高く、ムシムシとした日が続きますが、どうかお体にはご自愛ください。今回は先日発表されたサラリーマン川柳の中から一句「はたらきが はた楽に変わる 子の笑顔」さらり丸